

そうだ！大子をかじっちゃお～中学部：総合的な学習の時間～

中学部の総合的な学習の時間では、大子町の魅力にスポットをあてて、生徒が自ら①課題を考える。②情報を収集する。③収集した情報を整理し、考える。④気づきや発見をまとめ、発表する。という学習を行っています。

今回は、大子の特産の一つである「漆」について学習しました。学校から見える漆の林に注目すると、漆掻きの痕に気づき、器に塗る「漆の絵具」として使われることを学びました。また、南中学校に無形重要文化財「髹漆」保持者の増山紀一郎氏が来校し代表生徒が、在校する生徒や教員からの質問項目を携えて、講演を聞きました。実際に漆器に触れることもでき、貴重な体験となりました。

<本校での授業の様子>



<南中学校での講演の様子>



<質問>

<答え>

1つの作品に何日くらい時間がかかりますか	2～3か月です
一日の作業の時間はどれくらいですか	8時間です。勉強は嫌いだったけど、工作は楽しくてたくさん集中できました。
どのくらいで職人になれますか	10年間です。
一つの作品にどのくらいの漆を作りますか	1回4gそれを30回くらい 全部で120gくらいです。
お弟子さんは何人いますか	世界中にたくさんいます。
漆の器の良いところは	100℃のお湯が何回注がれても溶けない。熱に強いです。
大子の漆の良いところは	赤い漆を作る時に発色が良い。黒い漆は岩手県産が良い。

そのほかに、8年前に大子中学校下に植えた漆の木が現在直径30cmに育っているということや、最近は植物をモチーフにした作品が多く、今回の赤い器はゼラニウムをモチーフにしているとのことなどを教えていただきました。器を持った生徒は「軽いんだね」「つるつるしていてきれいだな」という感想をもち、学校から見える漆の木の痕を見て「熊じゃないよ。絵具をとるんだよ」と話していました。大子の魅力を再発見できた1日でした。